

1 基本方針

高度化・多様化する町民のニーズに対し、自由で公平な資料の収集と保存を行い、新鮮な情報の早期提供に努めるとともに、図書館サービスの充実を図り、広く町民の利用に供し、地域文化の振興と読書の普及を推進する。

このため、次の事項を推進し、図書館サービスの充実に努める。

2 運営方針

(1) 資料の収集・保存・提供

- ① 社会情勢や利用者の要求を的確に把握しながら資料の収集を行う。
- ② 0歳から高齢者まで各世代を意識した選書をバランスよく行う。
- ③ 野辺地町関係資料の収集に努めるとともに、野辺地町関係資料の紹介を行う。
- ④ 相互貸借のPR及び利用を推進し、利用者が求める資料の早期提供を行う

(2) 学習・調査・研究の援助

- ① 基本的で利用頻度の多いレファレンス資料の充実に努める。
- ② 的確で迅速な情報提供ができるようにレファレンスツールの作成に努める。
- ③ インターネットを利用した情報提供を活用する。

(3) 諸施設・各種団体・図書館サークル等との連携による読書の普及と推進

- ① 小学生から高齢者まで幅広い世代による、おはなしボランティアの育成に努める。
- ② 読書会及び各種サークルを育成するとともに、図書館サークル連絡会との連携を図りながら、読書・文化活動の普及を図る。
- ③ 各種講座や講習会を開催し、読書や読み聞かせに対する理解や関心の高揚を図るとともに、学習の機会を提供する。
- ④ 「野辺地町子ども読書活動推進実行委員会」（学校、保育所、読み聞かせ活動団体、行政等で組織）では、「野辺地町子ども読書活動推進計画」を基に協議や意見交換・情報交換を行い、子どもの読書活動を総合的に推進する。

(4) 家読（うちどく）の推進

- ① 学校との連携による「家族ふれあい読書デー」（毎月20日）を推進する。
- ② 家読ノート（改訂版）や推薦図書リスト（今年度補足分）を作成し、利用に供する。
- ③ 第2回家読でスタンプライブラリー（家族で20冊読んだら図書カード）を開催する。
- ④ 図書館だより等で、家庭における家読の実践例や家読の感想、家読した本の紹介し家読のPRに努める。
- ⑤ 「家読におすすめの本」コーナーの設置を継続する。
- ⑥ 「親子ふれ愛読書・親子の絆を深めるブックスタート」（ブックハロー拡充）を実施する。

(5) 館外サービスの充実

- ① 学校や幼稚園・保育園（所）、高齢者施設、福祉施設などへ定期的な巡回配本と団体貸出を実施し、館外サービスに努める。
- ② 館外サービス図書の補充として、県立図書館の協力用図書や団体貸出図書を活用し、利用に供する。

(6) 各世代に対応した広報活動の充実

各種行事の開催やおすすめの本の紹介など各世代に対応した図書館だよりやホームページ、ツイッターによる積極的広報活動を行い、本や読書に対する理解や関心を促進する。あわせて図書館の利用拡大に供する。

(7) 学校との連携・協力・支援

- ① 図書館見学、調べ学習・総合学習、就労体験・インターンシップの受け入れを行い学校の教育活動の支援を行う。
- ② 学校の要請に応じて、ブックトークや出前講習会などを開催する。
- ③ 「朝の読書」での読み聞かせや朗読を図書館サークルとの協働で行う。
- ④ 「朝の読書」におすすめのブックリストを学年ごとに作成し利用に供する。
- ⑤ 学校図書室の支援として、ブックコートかけなどの技術指導を行う。
- ⑥ 定期的な巡回配本や団体貸出を行い、図書補充の支援をする。
- ⑦ 学校向け図書館利用ハンドブックの作成と配布を行う。

(8) 郷土の歴史や文化、昔ばなしの継承

- ① 「新春のへじふるさとカルタ」大会等を開催し、「のへじふるさとカルタ」の普及・活用に努める。
- ② 野辺地の伝説を再話した「のへじの昔っこ」の貸出や読み聞かせを行い、ふるさと「野辺地」に対する愛着を深めるとともに、子どもたちの豊かな情操を培う。

(9) 各世代等に対応したサービスの充実

① 乳幼児サービス

- 0歳からの親子ふれあい読書（絵本の読み語り）を奨励するために次のことを行う。
- ブックスタート（再掲）や乳幼児向けおはなし会を開催する。
- 年齢に応じた「おすすめの絵本リスト」を作成し配布する。
- 子どもの読書活動の大切さの理解や関心を深めるために出前講習会を実施する。
- 幼児の保護者向け図書館だよりやホームページで読み語りの啓発と普及に努める。

② 児童サービス

- 読書の基本的習慣が形成される児童サービスを充実させるため次のことを行う。
- 子どもが読みたい本とおすすめの本をバランスよく選書する。
- おはなし会など各種行事の開催やテーマによる本の展示を行い、おはなしに親しみ、本と出会う機会を提供する。
- 学年別お薦めブックリストを発行し本への興味や関心、読書意欲を高める。
- わんぱく図書館だよりや子ども用ホームページでの情報発信を活発に行う。
- 友達や家族に読書の素晴らしさや大切さを伝えるリーダーとなることを目指す子ども司書養成講座を開催する。

③ ヤングアダルトサービス

ヤングアダルトサービスを拡充するため次のことを行う。

- ヤングアダルト図書の充実を継続する。
- 図書館通信「ティーンズ」の発行やホームページ（携帯電話対応）、ツイッターでの情報発信を頻繁に行う。
- 10代の興味や関心を的確に捉えるため、HPや図書館通信作成のスタッフとしてティーンズ・ライブラリー・フレンズを募集する。

④ 成人サービス

社会の情勢やニーズなどを敏感に読み取りながら趣味や娯楽のための資料、知識の習得や学習意欲に対応し、迅速で新鮮な資料と情報の提供を行う。また、各種サークル活動を支援するとともに、講習会や講座などを開催し趣味や学習の場を提供する。

⑤ 高齢者サービス

大活字本や録音図書の整備及び、時代小説、健康本など高齢者のニーズの高い図書の提供を行う。また、図書館を利用する際の介助、高齢者施設等への朗読訪問を行い、高齢者サービスに努める。

⑥ 障害がある人へのサービス

朗読の会「秋桜」の協力により対面朗読を行う。また、大活字本や録音図書の収集に努める。

(10) 図書館活動推進事業（緊急雇用創出事業）の実施

- ① MARCにより蔵書データを刷新する。
- ② 野辺地関係資料のキーワードによる資料検索サービスを充実させ利便性を高める。
- ③ 野辺地町関係記事のクリッピングを行い、掲載年によるファイリングを行う。
- ④ 図書館システムを構築する。
- ⑤ webによる視聴覚資料検索システムを構築する。

(11) 親子ふれ愛読書・親子の絆を深めるブックスタート事業の実施（再掲）

（平成23年度創意と工夫が光る元気なあおもりづくり支援事業補助金）

- ① 赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタート・パック（家読テーマソング CD、図書館案内等）を手渡し、絵本を介して心ふれあうことの楽しさ、大切さのメッセージを伝える。
- ② 「絵本でスキンシップ」～親と子の絆を深める絵本リスト～を作成し配布する。

(12) 図書館キャラクターの募集

図書館のPRと図書館に親しみをもってもらうために実施する。